# 公共事業新規箇所評価調書

評価確定日(令和7年8月4日)

事業コード	R7-農-新-	-02	区 分	● 国庫補助	〇 県単独	
事 業 名	農業農村整備調査計画費		部局課室名	農林水産部 農山村振興課		
事業種別	農地中間管理	里機構関連ほ場整備事業	チーム名	農村整備計画チーム	(tel)018-860-1855	
路線名等	金足岩瀬		担当課長名	農山村振興課長 石井	幸樹	
箇 所 名	秋田市金足岩瀬、潟上市昭和大久保 担当者名 チームリー		チームリーダー 沢田	明彦		
<b>プニン</b> トの	戦 略	農林水産戦略				
プランとの	目指す姿	農業の食料供給力の強化				
関連	施策の方向性	持続可能で効率的な生産体制	づくり			

# # W BB	D.O. D.1.5 (O.T.)	<b>公古 #                                   </b>	00 F ##M	同庆社品本	CO FO	
事業期間	R8~ R15 (8年)	総事業費	32.5 <b>億円</b>	国庫補助率	62. 50	
事業規模	区画整理 A=77.7ha					
事業の立案 に至る背景	○ 現況のほ場は10aの小区画また、用排水路は大部分が物の導入が進まず複合経営 ○ 高齢化等による農業従事とりまく環境は厳しく集落要がある。	土水路のため維持管理に への大きな支障となって 者の著しい減少や、農業	苦慮しており、水 いる。 用施設・農作業機	はけの悪いほ場 械の老朽化など	では高収益作 、地域農業を	
事業目的	<ul><li>○ ほ場の大区画化や用排水路の分離・装工、汎用農地化のための暗渠排水整備等により、複合経営が可能な基盤づくりを行う。</li><li>○ 担い手に農地を集積し、団地化・連担化による効率的な農業経営を行うとともに、高収益作物の導入により経営基盤の強化を図る。</li></ul>					
		体 R 8 年 度 ,251,000 171,000	760, 000	903, 000	R11年度以降 1,417,000	
	経 費 <u>工 事 費</u> 2. 用 補 費	, 728, 000 36, 000	682, 000 9, 000	818, 000 9, 000	1, 228, 000 18, 000	
事業費内訳	内訳その他	487, 000 171, 000	69,000	76, 000	171,000	
事業内容	財源国庫補助 1	, 936, 000 102, 000 765, 000 42, 000	453, 000 188, 000	538, 000 223, 000	843, 000 312, 000	
	内訳その他	310,000 15,000	63,000	75, 000	157, 000	
(単位:千円)	事 業 内 容 A=7 暗3	240,000     12,000       重整理     実施設計       7.7ha     境界測量       長排水     N=1式       7.7ha     N=1式	56,000 区画整理 A=25.9ha	67, 000 区画整理 A=25. 9ha 暗渠排水 A=25. 9ha	105,000 区画整理 A=25.9ha 暗渠排水 A=51.8ha	
調査経緯	<ul> <li>○ 令和4年度 調査計画(調査費 4,500千円 負担区分:県50%、地元50%)</li> <li>○ 令和5年度 調査計画(調査費 22,400千円 負担区分:国50%、県20%、地元30%)</li> <li>○ 令和7年度 調査計画(調査費 4,100千円 負担区分:県50%、地元50%</li> </ul>					
上位計画で	○ 新秋田元気創造プラン	「農業の食料供給力の強	化」			
の位置付け	○ 新ふるさと秋田農林水産ビジョン					
関連プロジ	○ 特になし					
ェクト等						
事業を取り 巻く情勢の 変化	○ 農業の担い手の減少や労 農地を有する農業県として れている。このため、複合 整備事業へのニーズが高ま	、農業の生産力・収益力 型生産構造への転換と法	の維持・増大によ	る食料供給力の	強化が求めら	
	指標名担い手への農					
事業効果把 握の手法	指標の種類 O 成果指 目標値 a 100. 実績値 b 17.	0% (R20末)	地区面積   低減指標の有   データ等の出			

## 2. 所管課の1次評価

観		点	評価の内容(特記事項)	評価点
必	要	性	<ul><li>○ 地区の大部分が10aで、道路幅員も狭小で通行に支障があり、効率の悪い営農を強いられている。</li><li>○ 排水不良により地下水位が高く、畑作物の導入ができない状況であることから、事業の必要性は高い。</li></ul>	18点
緊	急	性	○ 水路施設等の老朽化により応急対策が常態化しており、事業の緊急性が高い。	13点
有	効	性	<ul><li>○ 事業の実施により、担い手に農地を集積し集約化率が100%となる計画としている。</li><li>○ 農業用ドローンの導入を計画している。</li><li>○ えだまめやねぎ等の導入拡大を図る計画としており、有効性は高い。</li></ul>	18点
効	率	性	○ 事業によるほ場の大区画化や、それに伴う機械体系の大型化により、作業の効率化・ 省力化が図られるとともに、排水改良による高収益作物の作付け面積の拡大など、多 様な効果が見込まれ、費用対効果は1. 42となる。	10点
熟		度	<ul><li>○ 行政やJA等の支援体制により実行性のある営農計画が策定されているとともに、事業完了後の農地や施設の維持管理体制も整備されている。</li><li>○ 環境情報協議会の意見を踏まえた環境配慮対策を計画に反映しており、熟度は高い。</li></ul>	28点
判		定	ランク ( ● I ○ II ○ II ○ II ) ) 複合型生産構造への転換を図る農業基盤の核となるほ場整備事業であり、事業の必要性、有効性、熟度をはじめ、各項目とも評価は高い。	87点
総・	合 評	価	● <b>選定 ○ 改善して選定 ○ 保留</b> 複合型生産構造への転換を図る農業基盤の核となるほ場整備事業であり、事業の必要性、熟度をはじめ、各項目とも評価は高い。	生、有効

# 3. 財政課長意見

各事業の費用便益を踏まえ、優先順位を付けて実施すべき。すでに国庫補助事業や県単補助事業を活用して権利者関係等を調査し、実施に向けて地元関係者と調整済みであること等を勘案すれば、今年度の事業採択はやむを得ないが、令和7年度で完了する事業の総事業費に比べて、令和8年度に着手する事業の総事業費が多いことも踏まえ、整備事業の着手先送り等により後年度の財政負担の平準化を図ること。

### 4. 最終評価 (新規箇所選定会議)

総合評価 ● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留

事業実施は妥当である。

# 5. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

計画的な実施に努める。

## 6. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

# 公共事業箇所評価基準

**評価種別** 新規箇所評価 **適用基準名** ほ場整備事業 **事業コード** (R7 - 農 - 新 - 02) **箇所名** (秋田市金足岩瀬、潟上市昭和大久保)

### 1. 評価内訳

1. 評価 観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘 要
	事業の必要性				
	営農への支障度	3項目以上該当	15		①地下水位30cm未満
	①排水不良 ②水路未装工等	2項目該当	10	15	②未装工が大半 ③道路幅3m未満 ④現況集約化率8.0%
	③道路狭小 ④分散錯圃	1項目該当	5		
	現況の区画規模	未整備	5		10a
	2000	30a未満	3	3	
		30a以上	1		
	計-	<i>y</i> .=	20	18	
緊急性	地域の状況				
	応急対策の実施状況	年1回程度の応急対策を実施している	10		年1回程度の応急対策を実
		過去5年以内に応急対策を実施したことがある	5	10	施している
		過去10年以内に応急対策を実施したことがある	3		
	他事業との連携	他事業と関連して事業期間内の調整や早期着工を要する	5	3	
		他事業はないが、単独で十分な効果がある	3	J	
	11-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1		15	13	
有効性	期待される具体的効果				
	担い手への農地集積	90%以上	10		農地集約化率100%
	・農地集約化率	70%以上90%未満	5	10	
		50%以上70%未満	3		
	複合化への取り組み	50%以上	10		高収益作物の割合
	<ul><li>作物生産額に占める高収益作物の割合</li></ul>	30%以上50%未満	5	3	35百万/117百万=29.9%
		10%以上30%未満	3		<u> </u>
	政策課題への取り組み	2項目以上該当	5		ドローン(防除用)
	・省力化技術の導入(スマート農業技術)	1項目該当	3	5	地域排水型暗渠排水
	• 流域治水対策				
	∄ <del> </del>		25	18	
効率性	事業の投資効果				
	費用便益比(B/C)	1.20以上	5		B/C=1.42
		1.10以上1.20未満	3	5	
		1.00以上1.10未満	1		
	事業費の節減				
	コスト縮減計画	2項目以上該当	5		①埋蔵文化財保護の工法比 較による盛土材の抑制
	①工法の比較検討 ②新技術の導入	1項目該当	3	5	製による盤工材の抑制 ③再生砕石
	③資源の活用 ④共同工事 ⑤その他				0172411
dat da	計		10	10	
熟 度	営農計画の完成度				①は旧勅供提出 )
	①事業支援体制の整備	3項目以上該当	10		①ほ場整備推進チーム ②農業法人設立済み
	②農業法人設立済み	2項目該当	5	10	<ul><li>○展末伝入設立併み</li><li>③えだまめ、ねぎの法人間</li><li>連携</li></ul>
	③作物導入に向けた取組の実施	1 項目該当	3		
	④高付加価値化の取組				
	用地状况	the West Description of the Control	<u> </u>		課題なし
	事業区域の用地状況	事業区域の用地に課題がない	5	5	<b></b>
	All 44 MM of The Head	課題があるが採択までに解決される見込みがある	3		
	維持管理体制				① 茶林川 上 桝 本 白 ▽
	①土地改良区への加入	2項目該当	5	5	①新城川土地改良区 ②岩瀬グリーン環境保全会
	②日本型直接支払制度の取組	1項目該当	3	]	○石限ノノ マ 保死体主云
	各種協議の進捗状況	- 200	Ť		
	進捗状況(河川協議、道路協議	必要な予備協議が完了している	5	_	採択までに完了する予定
	林地開発、指定区域等)	採択までに予備協議が完了する予定である	3	3	10. 1. July 1 / W 1 / L
	環境との調和	TOTAL STATE A MILITARY AND A TAKE STATE ST	Ť		
	環境配慮対策	2項目以上該当	5		①濁水防止、騒音対策
	①施工時の影響緩和 ②生態系保全	1項目該当	3	5	②小動物昇降路付き桝
	③景観保全 ④その他	* \\ \text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\tin}\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\tint{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\tint{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\tett{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\tin}\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\texi}\tint{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\ti}}\\ \tittt{\text{\text{\text{\text{\text{\texi}\text{\text{\text{\text{\text{\texi}\tint{\text{\tintet{\texi}\tint{\tiint{\texi{\text{\text{\text{\text{\text{\texi}\tint{\text{\texi}\ti		1	
	計		30	28	
	合 計	<del> </del>	100	87	

2. 判 定

=\./2	判定内容	配点	判定	摘 要
127		11. 从	刊化	拘 安
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	複合型生産構造への転換を図る農業基 盤の核となるほ場整備事業であり、事 業の必要性、有効性、熟度をはじめ、 各項目とも評価は高い。
П	優先度が高い	60点以上80点未満		
Ш	優先度が低い	60点未満		